



小池都知事にヴィーガン対策の申し入れ



今日は、ベジ気分！

ベジタリアンと大豆は切っても切れない間柄。
少し、ベジで楽しい生活をのぞいてみませんか？

第7回日本ベジタリアン・アワード大賞を受賞した、松原仁衆議院議員を加藤裕子をご紹介します。



ベジ・ヴィーガンJAS原案申出に尽力



今月のベジーさん ～衆議院議員～ 松原 仁さん

●松下政経塾から政治の道へ●

松下幸之助の「繁栄を通じて平和と幸福を実現する」という言葉に共鳴し、早稲田大学卒業後、政治家になることを志して松下政経塾に参加しました。東京都議（2期）を経て、平成12年に衆議院議員に当選、現在8期目となります。平成23年9月に国土交通副大臣、平成24年1月に国家公安委員会委員長・消費者担当大臣・拉致問題担当大臣を拝命しました。現在は立憲民主党に所属し、拉致議連（北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟）幹事長を務めるほか、人権外交を超党派で考える議員連盟、ウイグル議員連盟、オンラインゲーム・eスポーツ議員連盟、フードテック議員連盟、資源リサイクル推進議員連盟、自然災害議連（自然災害から国民を守る国会議員の会）など、多岐にわたる分野で活動しています。日本のアニマルウェルフェア促進も今の時代の大事なテーマであり、犬猫の殺処分ゼロを目指す動物愛護議員連盟、爬虫類・両生類を考える議員連盟での活動と共に、動物愛護法改正にも尽力しました。

●国会でヴィーガン食●

ベジ議連の働きかけにより、国会でも衆議院第二議員会館の食堂にヴィーガンメニューが導入されました。私自身はベジタリアンでもヴィーガンでもありませんが、よく利用しています。味もおいしく、手頃な値段で食べられるので、国会議員がもっとベジタリアン・ヴィーガンに親しむきっかけになればと、願っています。

●ベジ議連の働きかけで進んだ環境整備●

第7回日本ベジタリアンアワード大賞を受賞した**松原仁衆議院議員**は、「**ベジタリアン／ヴィーガン関連制度推進のための議員連盟**」（ベジ議連）創設や**国際基準による国の公的なベジ・ヴィーガン食規格**（ベジ・ヴィーガンJAS）**推進**に大きな役割を果たしてきました。

「数年前、『海外のベジタリアンやヴィーガンが日本にきたと

き、コンビニの塩おにぎりぐらいしか食べるものがなくて困っている』という話を聞きました。東京五輪も控えているのに、そのようなことでは日本のおもてなしの精神に反します。もっとベジタリアンやヴィーガンのレストランを増やさなければならぬと考え、2018年12月4日に『インパウンドに対応したベジタリアン／ヴィーガン対応に関する質問主意書』を国会に提出しました」

この質問主意書により、**日本の国会でベジタリアン・ヴィーガ**

ンが初めて取り扱われ、その後、2019年11月に設立されたベジ議連の活動はメディアの注目も集め、日本のベジタリアン・ヴィーガン環境整備を大きく進めることになりました。

「私自身も含めた国会議員のベジタリアン・ヴィーガン認識がきわめて浅いことは問題だと思ひ、河村建夫元官房長官に会長になっていただき、**超党派のベジ議連**を立ち上げました。民間で活動しているベジタリアンやヴィーガンの団体にも加わってもらい、率直な



JAS 制定プロジェクト
チーム委員会



衆議院議員会館食堂のヴィーガンメニュー



①ベジ議連設立総会
②参加者にはヴィーガン弁当を配布

意見交換を行うと共に、観光庁や東京都にウエブやマップによるベジタリアン・ヴィーガン情報提供を進めるよう、働きかけていきました。また、**五輪開催地としてヴィーガン対策を進めてほしいと小池東京都知事に申し入れ**をしたところ、ミートフリーマンデー運動を提唱しているポール・マッカートニー来日に合わせ、**都庁食堂への週1回のヴィーガンメニュー提供を即決**してくれました。こうしたことも、一つのはずみになったと思います」

●世初のベジ国家規格制定へ

ベジ議連の活動により、衆議院第二議員会館のレストランや気象庁の職員食堂などでヴィーガン対応が始まり、国会や官庁でのベジタリアン・ヴィーガン食の導入も少しずつ進んでいます。また、今年秋の制定が見込まれている**ベジ・ヴィーガンJAS**も、ベジ議連の活動から生まれた大きな成果です。「**日本ベジタリアン協会の垣本会長を座長としたプロジェクトチーム**に、私はベジ議連を代表して参加しました。本日は、ベジ議連に参加しているすべての民間団体にも加わってほしかったのです

が、委員の枠が限られていたというところもあり、プロジェクトチーム委員会と同じ回数でこれらの団体とも会合を持ち、意見の調整を行いました。世界にはさまざまなベジタリアン・ヴィーガン民間認証がありますが、**食品とレストランの2つの分野で、世界で初めてとなるベジ・ヴィーガンの国家規格をスピード感をもって作る**ことができたのは、非常に良かったと思っています」

「『ヴィーガン』が流行語大賞に選ばれるぐらい、今後もさらなる日本のベジ・ヴィーガン機運を盛り上げたい」と、松原議員は言います。

「**精進料理の伝統**を持つ日本は、本来、ヴィーガン先進国のはずです。また、食の多様性や地球環境、飢餓克服、健康、動物愛護の観点からも、ベジタリアン・ヴィーガンの普及には大きな意義があると言えるでしょう。私は『eスポーツ、フードテック、ヴィーガンを1兆円産業に』という夙約も掲げて

いますが、たとえば**植物由来代替肉の世界市場は2020年の110億ドルから2030年には886億ドル(約12兆円)にまで拡大**するとも言われており、日本でも大きな可能性があることが見込まれます。日本でベジタリアン・ヴィーガンをもっと普及させていくには、農林水産省や東京都も関わる大々的なヴィーガン料理コンテストの開催など、さまざまな方法が考えられるでしょう。これからも政治の側から、日本のベジタリアン・ヴィーガン環境を質量共に充実させるよう、力を尽くしていきたいと思っています」

衆議院議員 松原 仁さん

【松原議員の政策やプロフィールなどの詳細は、下記をご覧ください】

- 公式サイト <https://www.jin-m.com>
- YouTube (松原仁のじんじんチャンネル) <https://www.youtube.com/channel/UCjUxxFx0tV4a9msYxVar1zQ>
- Instagram <https://www.instagram.com/matsubara.jin/>
- ツイッター @matsubarajin731

いままでも、これからも
いなりのある生活をお届けします。

INALIFE

■味付け油揚げ (いなり揚げ) 大豆加工食品の製造・販売



松田食品工業株式会社

〒544-0005 大阪市生野区中川5-4-21

TEL:06-6758-5501 FAX:06-6758-6680

拠点:大阪、東京、名古屋、福岡



<協会事務局>
〒532-0003
大阪市淀川区
宮原 1-19-23-1317
☎06-6368-9360
<http://www.jpvs.org>



認定NPO法人日本ベジタリアン協会
加藤 裕子 (顧問)
著書に『食べるアメリカ人』など。